

●英語感覚をみがく！ 可算名詞と不可算名詞

日本語と違い英語では、数えられる名詞の可算名詞 (C=Countable) と、数えられない名詞の不可算名詞 (U=Uncountable) を区別します。さらに日本語にはない冠詞a, an, theや、可算名詞の複数形などが関連しますので、辞書でよく調べて正しい用法を身につけましょう。

次は、宇宙飛行士の若田光一さんが宇宙ステーションでおこなった実験に関する章で、「私たちは科学的実験だけでなく教育的実験もおこなった」に続く英文です。

…I tried arm wrestling(1) with a Canadian astronaut(2). To our surprise, both our bodies started to spin around. In another experiment(3), I tried writing with a brush. I used too much ink(4), but it didn't drip. …

(from *Crown English Communication I*, p.19)

Q1

下線(1)~(4)の語について、辞書で調べて文脈にあてはまる意味を書き、C/Uを選び○をつけなさい。

- (1) 意味 (/ C U)
- (2) 意味 (/ C U)
- (3) 意味 (/ C U)
- (4) 意味 (/ C U)

解説

- (1) 設問は単語だが、arm wrestlingのように名詞2語でまとめた意味を持つ語を複合語と呼ぶ。競技者(arm) wrestlerはC。
- (2) Canadianの前にある不定冠詞aで可算とわかる。a, anの使い分けや不定冠詞の位置については、a, anコラムを参照。
- (3) すぐ前のanotherで可算とわかる。ただし、**名**語義②のように漠然と「実験すること」の意味ではUになることに注意。文脈によってU/Cどちらも使われる語にはUCがついている。語形の似ている「経験」experienceにも注意。
- (4) すぐ前のmuchがmanyではないことで判断できる。液体のような数えにくいものは原則U。ただし、「コーヒー2杯ください」Two coffees, please.のように、1杯、2杯…と数えやすい場合はCになることもあるので、文脈と前後の語句をよく見ること。